

わが家のインターネット奮闘記



主人公・箱根たまみ
1965年4月生まれ。化粧品会社企画部勤務。ワープロ（書院）所有。パソコンもロータスクらいは使える（入力程度）。パソコン通信未経験。部長からインターネットを勉強しろとせつつかれている。



たまみの夫・箱根くに丸
1964年4月生まれ。食品メーカー物流部門勤務。98からマックに乗り換えた。ASAHIネットの古参会員でパソコン通信歴は長い。インターネットはブームで終わると思うと始める気がしない。

第1回【うちの会社がインターネット始めるんだって!】

この連載は東京・小金井市に住む新婚夫婦がインターネットを使いこなすようになるまでの道のりを実話にもとづいて語るものです。

登場人物名以外は決してフィクションではありません。

Illustration: Sachiko Hiruma

箱根さん、インターネットって知ってる?

午後、重くなりかけたまぶたと戦いながら、今春発売予定の小ジワ取りマッサージクリームのモニター試用結果の集計をパソコンに打ち込んでいたら、イサム部長に「箱根さん、ちょっといいかな」と呼ばれた。部長はホントは山崎勇っていうんだけど、吉田戦車の漫画のキャラクターにちなんで企画部の人間はみんなこう呼んでいる。「午前中の販売計画会議で決まったんだけどさ、来年をメドに企画部でインターネット通販の実験を始めることになったんだ」「はい」「箱根さん、インターネットって知ってる?」「うーん、言葉だけなら。知らないと答えると恥をかきそうな曇行きるとき、私はいつも名前は聞いたことがありますって答える。だけど今回はそんな心配も必要なかった。「ボクも新聞で読んで、ホームページがどうのこうのって言葉だけは知ってるんだけど、じゃあインターネットについて説明しなさいって言われたら、手も足も出ない」。イサム部長の話は

今度始めるインターネット通販の実験の準備として勉強会を開き、2か月程度で基本的な知識を企画部全員の身につけさせたい、についてはその勉強会のコーディネイトを私にやってほしいということだった。「どこから講師を呼んでくるのもいいし、見学に行くのもいい、金はある程度使っていいから、プランを立ててみてよ」と続けて、イサム部長は、冷めたコーヒーをまずそうにすすった。うちの会社は小さいから、新しいことを始めようとなると何でも企画部に回ってくる。アンテナショップの出店や、通信販売のテストランのときもそうだった。でも私は新しいことに首を突っ込むのが好きだから、こういうことは決していやではない。なにより会社の外に出る大義名分のできたのがうれしい。私は、わかりましたさっそく取りかかりますとニッコリ笑って返事をした。



インターネット、インターネットって、何がそんなにありがたくて騒いでんだか。そーゆーものは一部のミーハーに任せておけばいいのよ。なにしろあれはWWW（ダブルプルダブルプル、あー言いにくいなー、もー）とかいう画面に絵が出た、文字が出たって喜んでるんですよ。面白いわけないと思うんだけどなあ。

「俺の代わりにお前やれ」と言うのを、企業では「権限の委譲」と言って、リーダーの大切な仕事の一つということになっている。しかしこの不況下、マジメでユウノーな社員であるたまみちゃんをバカげた金喰い事業（どーもむちゃくちゃ金がかかるらしい）に向かわせる彼女の会社（の上司。たしかいつも酒臭い）にはムカつくし、その会社（の上司。たしかセクハラで取締役役になりそこねた）を蹴らせたマスコミにも怒りを覚える。実を結ばない暗くてつらい（はずの）仕事からたまみちゃんを救い出し、彼女の会社（の上司。たしかメディアに乗せられやすい）を本業から大きくはずれたバカ騒ぎから目覚めさせるために、僕は一刻も早く、それがいかにつまらないものであるかを教えなければならぬ。

インターネットに関するものってどこにあるの？

いるらしいんだよ、パソコン屋さんに入ってくるなり「インターネット買いたいですか」とか言う人。パソコン屋さんもさるもので、はいはいとか言ってウィンドウズ95がついてくる便利なんだろうけど高いマシンを売りつけたりするらしい。だから「インターネットを買う」という表現はまちがいではないと言う人もいます。だけど、本当にそうやって手に入れた“インターネット”が洗濯機のように簡単に動かかどうかは疑問。しょせんはパソコンだもん。

“ネット社会”と聞くと寒気がするな。だいたい昔からインターネット使ってた人たちがいろいろ小ウルサイんだよね。「情報を受けるだけじゃなくて自分でも必ず発信しなきゃだめ」とか言って。僕はどうしてもそういう面倒くさいものにみんな大騒ぎするのが皆目わからない。金払ってデータベースを使ったりしているだけのイチ・パソコン通信ユーザーの僕としては、まるで魅力を感じないわけ、そういうインターネットには。

「そういう本とインターネットの本が隣り合っているということは、大変象徴的なことなんである。えへん」と、小ウルサイやつの人(会社の同僚。3年前にパソコンと結婚、今はインターネットで新しい彼女を探したいと言っている)がしきりに感心していた。ちなみに僕は小林カツ代先生の本には独身アパート生活からお世話になっています。超簡単料理「にんじんの丸ごとスープ」は大好きなんである。えへん。

それにしても、機械オンチの私にこんな役割が回ってくるなんて、人生わかんないもんだなあ。外は風が冷たいけどいいお天気。どこに行ったものかとちょっと考えて、とりあえず皆が調べものによく使う図書館に行ってみることにした。中央図書館はできたばかりで気持ちのいい建物だし、安くコーヒーが飲める喫茶コーナーもある。いい気分図書館へ向かう道々、2~3軒、大きめの電気屋さんの前を通ってみた。インターネットに関するものを何か売っていないかと見てみたけれど、何も売っていないようだった。あらためて考えてみると、インターネットって、あるいはインターネットに関するものっていったいどこに売っているんだろう。

図書館では、どのコーナーに行けばいいのかわからなかった。インターネットって科学的な話だし、インターネット社会っていうくらいだから社会的に深く影響のある現象だろうと「社会科学」コーナーを探してみたが全然違った。正解は「技術・家事」コーナーだった。

『インターネット宣言』村井 純著

『インターネット&情報スーパーハイウェイ』

青木利晴ほか3名の共著

『インターネット情報検索ツールガイド』

Paul Gilster著

ひろーい「技術・家事」コーナーの本棚の

なかで、題名にインターネットの文字が入った本はこの3冊だけだ。もっとたくさんあるかと思

ったのに、意外と少ない。他の人にほとんど借りられちゃってるのかな。それにしても、まったく興味のない分野の探し物をす

るのは疲れるもんです。3冊抱えてくると

ふり返ったら料理の本がたくさん並んでいたの

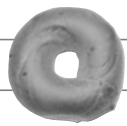
で、思わずほっとしちゃいました。やっぱり私はこ

っちだね。ついでに「小林カツ代の卵料理85」

も借りて帰ろう。ひとり7冊までだからだいじ

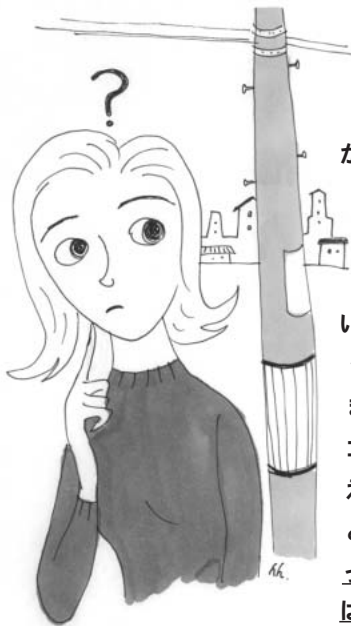
ょうぶだね。





私はインターネットをつなぐ回線というものを見たことがない。

家に帰ってからひとりで夕べのおでんの残りで夕食をすませて、一番読みやすそうな『インターネット宣言』をめくってみた。すると、驚くべき事実が明らかになった。インターネットというのは「回線」という線につながったコンピュータのことをいうらしいのだ。さらに、インターネットはパソコン通信の集合体のようなもので、発展途上国も含め、世界中で使われているということだった。しかし、1時間かけてわかったのはここまでだった。インターネットをつなぐ回線というものを、私は町を歩いていて見たことがなかった。つながったコンピュータの写真が1枚でも載っていればイメージがわきそうなのに、どの本にも載っていない。それにいちばん基本的なこと、つまりインターネットをするには何という名前のコンピュータが必要で、それはどこに行けば買えるのか、いくらぐらいするものなのかということの説明がない。たとえばそのコンピュータを買ったとしても、インターネット回線を引くためには工事なんか必要だろう。うちは賃貸



だから、工事はだめだ。将来家を買いたいとは思っているけれど、頭金がたまるまであと3年はかかるから、家でインターネットをやるとなると4~5年先になりそうだ。うちの会社は、工事はだいじょうぶだろうか。ビルに間借りしている会社はどうしているんだろう。とかなんとか本とらめっこしてるうちに、くんちゃんが帰ってきた。「ただいまあー。あ、おでんあったまってる。ラッキー!」「おかえりー。いまね、本読んでたんだよ。インターネットの本。くんちゃんインターネットってわかる?」「想像はつくけど。どうしてまた急にそんな本読んでるの?」「うちの会社でインターネット通販の実験するんだって。その準備の勉強会を私がお世話することになったの」「へえー大変そうだね。難しいんだよインターネットって。やってみせようか。今はパソコン通信ネットからつなげられるんだから」「えっ、うちからインターネットできるの?! どうして?」灯台もと暗しとはこのことだ。まさかわが家からインターネットができるなんて。



とは言っても、僕はその日まで一度もインターネットに入ってみたことはなかった。例の小ウルサイやつのメールアドレス(っ言うんでしょ)にASAHIネットから電子メールを送ったことぐらいはある。ただ、

僕がインターネットに関与した実績はそれ以上でも以下でもない。自慢じゃないが、僕はまだタグ(試験運用中)の頃からのASAHIネット会員で、去年だかおとしだかからそのメニューができたことは知っ

てはいた。だけど、「面白くない」と信じていたから、その夜まで1度もそのメニューに入ったことはなかったのだ。実は、でも、しよせんパソコン通信のメニューにのるようなもの。簡単じゃないはずがない。



回線なんて立派なもんじゃなくて、隣に座っている上司と部下の2台のコンピュータを繋いだけども本来は「インターネット」と呼んでいいはずだそうです。インターネット関連の入門書は僕も何冊も買ったけど、どれも「そもそもアメリカの軍事用ネットワークのARPAnetというものが」という話から始まって、「複数のコンピュータを繋げた状態が云々」という辺りでつまんなくなつてあとはソソク読になっちゃうんだよなー。



僕も「あれがそうだ」とは言えないけれど、電話線もその1つだよ。ほかに光ファイバーだとかも使うらしい。どっちにしろ、インターネットのためにわざわざ通したもつてのはまだまだ少ないらしい。前に仕事で行った農家の田んぼには水位を調節するロボットが据え付けてあって、それは光ファイバーでどこぞの試験場か何かに繋がっていた。その線もインターネットに使う話があるそうで、それをいじくっている若い兄ちゃん「インターネットは農村から来るんです」とうそぶいていたぞ。こわいなー。



「インターネット回線」という物理的な線はないんでしょ。うちはパソコンとモデムがあるから、今使ってる電話を使って繋げばいい。工事はいらないよ。ほかにISDNを使う人とかがいるらしい。うちはISDNを新たにひくのはパスだな。食費削って貯蓄中だから。でもPowerMacはほしいなあ。ぶつぶつ

そうが、家でもできるのね。じゃ、やってみて。アレ?

妻「ねえ、うちってインターネットできるのね？」
 夫「パソコン通信経由でね」
 妻「ということは、引っ越してくる前からこのアパートはインターネットにつながっていたのかしら?(木造なのに?)」
 夫「あのね、インターネットというのはですね、何を使ってつなげてもいいの(たぶん)、うちからは電話を使えばつなげられるの(たぶん)、まずね、こうやって、いつものように通信ソフトでASAHIネットに入でしょ」
 妻「はあー」
 夫「これがトップメニューなわけですよ(①)、これの3行目に“5.インターネット接続”ってあるでしょ。だからここで5 とやるわけです。そうすると...(②)」
 妻「...これがインターネットなの？」
 夫「うーん...いや、たぶん違うな」
 妻「イサム部長がね、ホームページとかなんとかかか言ってたんだけど」
 夫「ホームページねえ。たしかそれはダブルダブルダブルというものと関係があるらしいよ」
 妻「9番にあるね、WWWって」
 夫「9番ね、9 っと...あ、あれ、あれれー(③)」
 妻「なあに、これ? イサム部長のパソコンみたい」
 夫「なにそれ？」
 妻「キーボードに砂糖いっぱい、のコーヒーこぼして改行キーひっついちやっているの。くんちゃんのマックもコーヒー飲んじゃったの？」
 夫「違うよ。ほら、トップメニューにもどれたよ」
 妻「もう1回やってみて」
 夫「...わわー、同じだ」
 妻「なんで？」
 夫「しかし、これは...(なんだ、パソコン通信からWWWを見ることはできなかったのか。明日小ウルサイあいつに電話してWWWを見るためにそろえるべき役者を教えてもらおう)」



- ASAHIネット トップメニュー
- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. ウェルカム・コーナー | 2. お知らせ / 質問・要望 |
| 3. 文芸 / 電脳作家倶楽部 | 4. 句会ネット |
| 5. インターネット接続 | 6. 会議室 / 掲示板 |
| 7. 《会議 / 掲示板ルーチンコース》 | 8. メッセージの一括表示 |
| 9. 電子メール | 10. ファクス配信 |
| 11. ニュース | 12. データベース |
| 13. チャット | 14. ショッピング |
| 15. 設定 / 登録 / ご利用状況 | 16. ASAHIネット政治版 |
| 96. 新春あけまして広場96 | 99. 終了 |
- 番号>5 **1**

- === インターネット接続
1. インターネットの利用について
 2. インターネットクラブ
 3. Anonymous FTP の利用
 4. TELNET の利用
 5. WHOIS サービスの利用
 6. NETNEWS サービスの利用
 7. FINGER サービスの利用
 8. FINGER 用自己紹介の登録
 9. WWW の利用
 10. ダイアルアップIP接続の申し込み
 11. PPP接続広場
 12. チャレンジ・ザ・HTML
 13. ホームページ管理
- 0【トップメニュー】
番号>9 **2**

ASAHI NET Users' Home Page (1/22)
 WWW(WORLD WIDE WEB)の世界へようこそ!

ヘルプを見るには、[1]このリンクを選ぶために、1改行と入れてください

Go [URL] 他のページを呼び出す
 TErm 端末設定を変更する
 Prev 直前のページを呼び出す
 / ホームページに戻る

[2] ASAHI ネットのホームページを見る。
 [3] MMJP のホームページを見る。
 [4] ASAHI ネット会員のホームページを見る。
 [5] RING 実験サーバのホームページを見る。
 [6] 日本の新着情報 (NTT) を見る。
 [7] URL の広場 (NTT) を見る。

95/12/27 RING 実験サーバへのリンクを追加しました。

ap-net@asahi-net.or.jp
 終わり(メニュー-[1]/ページ[へ+\$/リンク[1-7])> **3**

箱根家・今日の教訓

- | | |
|--|--|
| 一、インターネットとは“線”(電話線でもOK)で世界じゅうのコンピュータをつなぐことである。 | 一、ただし、インターネットをするためにはコンピュータうちマック)モデム、パソコン通信ソフトじゃない何が(現在調査中、来月までにわかる予定)が必要なのである。 |
| 一、家でインターネットを始めるのに、工事は必要ない。賃貸アパートでもできる。 | by たまみ・くに丸 |



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp